

町田市文化財年報

2024 年度

町田市教育委員会

例 言

- 1.本書は 2024 年度、町田市内で行われた文化財事業の概要を記したものである。
- 2.本書の作成は町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課が編集・執筆を担当した。

I. 文化財保護審議会	5
1. 文化財保護審議会委員名簿	
2. 開催状況	
3. 主な審議内容	
II. 文化財保護普及事業	6
1. 文化財の新規指定・登録	
2. 町田市立自由民権資料館	
(1) 概要	
(2) 企画展	
(3) まちだ歴史講座「まち歴」	
(4) まち歴の記録	
3. 町田市考古資料室	
(1) 概要	
(2) イベント	
4. 三輪の森ビジターセンター内郷土資料室	
5. 町田デジタルミュージアム	
6. 文化財の普及・活用	
(1) 本町田遺跡公園ガイダンスルーム展示リニューアル	
(2) まっくう給食	
(3) 東京文化財ウィーク	
(4) パネル展「写真でみる高ヶ坂石器時代遺跡の整備」	
(5) 文化財防火デー	
(6) 町田市×相模原市「 <u>まち</u> の歴史、 <u>さが</u> してみました～まちさが考古学講座～」	
(7) 学習動画映像制作「町田と養蚕～おカイコさんのいたくらし～」	
7. 出張歴史授業	
8. 講師等の派遣	
9. 出版物の刊行	
10. 資料調査対応	
11. 資料の貸出	
12. 資料の写真掲載等	
13. 取材・メディア撮影等	
14. 学校資料の整理・移管	
III. 史跡保存事業	17
1. 国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡整備	
2. 東京都指定史跡 本町田遺跡復元住居修繕	
IV. 埋蔵文化財保存事業	18
1. 本調査	
相原丸山遺跡（町田市No.769 遺跡）	
2. 試掘調査	
(1) 町田市No.769 遺跡	
(2) 綾部原遺跡(町田市No.295 遺跡)	
(3) すぐじ山下遺跡(町田市No.829 遺跡)	
(4) 町田市No.990 遺跡	
(5) 町田市No.62 遺跡	
(6) 原東遺跡(町田市No.562 遺跡)	
(7) 原小学校遺跡(町田市No.714 遺跡)	
(8) 町田市No.215 遺跡	
(9) 山崎遺跡群 A 地点(町田市No.500 遺跡)	

I. 文化財保護審議会

町田市文化財保護審議会は町田市文化財保護条例第 48 条により設置され、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用などについて調査、審議し、教育委員会に建議するものとされている。委員は 10 名以内で構成され、教育委員会が委嘱する。

第 32 期（2023 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）は下記の委員によって、文化財に関する審議を行った。

1.文化財保護審議会委員名簿

氏 名	現 職 等	担 当 分 野	備考
◎浜田 弘明	桜美林大学教授	博物館学・人文地理学	
○八木橋 伸浩	玉川大学名誉教授	民俗学・文化史	
阿諏訪 青美	横浜市歴史博物館学芸員	日本中世史	
内野 秀重	東京都立大学牧野標本館 特任研究員	自然誌	
大野 敏	横浜国立大学教授	建築史	
須田 英一	法政大学講師	考古学	
鶴巻 孝雄	元東京成徳大学教授	日本近代史	～2024.5.31
石居 人也	一橋大学大学院教授	日本近現代史	2024.8.1～

※◎は会長、○は副会長

2.開催状況

第 4 回会議	2024 年 5 月 21 日
第 5 回会議	2024 年 8 月 20 日
第 6 回会議	2024 年 11 月 15 日
第 7 回会議	2025 年 2 月 10 日（書面開催）

3.主な審議内容

- ・市登録有形民俗文化財候補「成瀬の天狗型道祖神（3 基）」についての審議・答申

Ⅱ．文化財保護普及事業

1.文化財の新規指定・登録

登録名称：成瀬の天狗型道祖神（3基）

種 別：町田市登録有形民俗文化財

登 録 日：2025 年 3 月 7 日

成瀬地区に存在する 1700 年代に造塔された正面に天狗の像容を配した 3 基の単体像道祖神塔である。3 基のうち、【写真③】の道祖神塔については、1960 年代頃から研究者の間で、珍しい像容の道祖神塔として注目されており、1975 年に初版が発行された庚申懇話会編『日本石仏事典』においても、清水長明氏が「珍しい例として、天狗を浮き彫りにした道祖神が町田市成瀬にある。」と紹介している。

天狗の像容が刻まれた道祖神塔は、全国でも他に例がなく、さらにそれらが 3 基同一地区に存在していることは、たいへん希少性が高く文化的価値が高いといえる。また、本件の 3 基の道祖神は、本尊として天狗像が刻まれていることが最大の特徴であるが、市内に残存する 1700 年代前半に造塔された時代の古い単体像の道祖神塔としても貴重なものであるといえる。



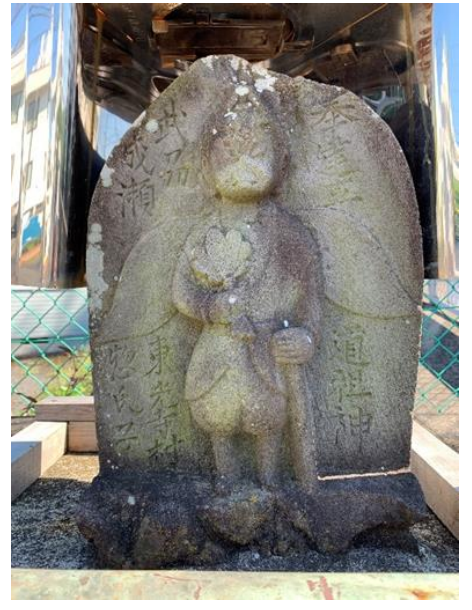
【写真①】

成瀬 5 丁目 4995 番地
(山之根稲荷神社境内)



【写真②】

南成瀬 4 丁目 19 番地 14
(市立西山児童公園内)



【写真③】

南成瀬 8 丁目 11 番地 33

2. 町田市立自由民権資料館

(1)概要

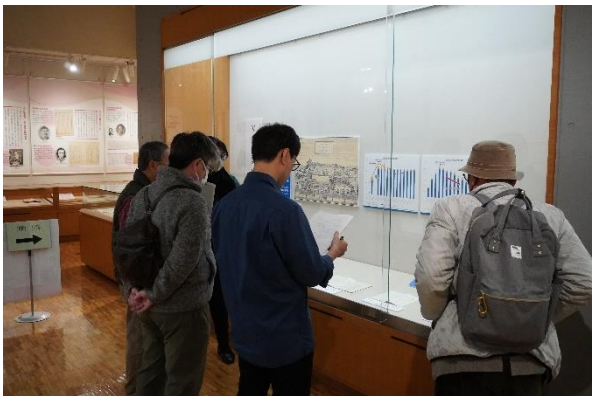
月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始以外は開館している。
2023 年度、自由民権資料館の愛称を公募し、「まちれき」に決定、11 月 1 日より使用を始めた。
「自由民権運動と町田」、「町田の歴史一時代でたどる人びとのくらしー」の 2 種類の常設展示を行っている。夏休み期間にミニ企画展「計る・測る・量るー“はかる”道具のいま、むかしー」を開催した。秋には企画展「回せ！地域経済ー江戸・明治の町田の金融史ー」を開催し、展示ガイドブックを刊行、展示会終了後にはガイドブックと、展示内容をデジタル展示としてホームページに公開した。
講座事業では、古文書講座、企画展関連の講演会をふくめ、まちだ歴史講座（通称「まち歴」）を 20 回開催した。
年間開館日数は 289 日、来館者数は 5,081 人であった。

(2)企画展

展示名	開催期間	日数	来館者数
ミニ企画展「計る・測る・量るー“はかる”道具のいま、むかしー」	2023.7.20～9.1	38 日	992 人
企画展「回せ！地域経済ー江戸・明治の町田の金融史ー」	2024.10.12～12.8	50 日	1,008 人



ミニ企画展「計る・測る・量るー“はかる”道具のいま、むかしー」の展示風景



企画展「回せ！地域経済ー江戸・明治の町田の金融史ー」のギャラリートーク

(3)まちだ歴史講座「まち歴」

種類	講師	タイトル	開催日	会場	受講者数
座学	黒滝香奈(駒沢女子大学非常勤講師)	古文書講座(前期) 全 5 回	2024.5.30～7.25	国際版画美術館講堂	のべ 182 人
座学	資料館職員	「村びとの記録『晴雨日記』の世界ーむらの日常と非日常」	2024.6.22	自由民権資料館閲覧室	29 人
WS	丸山獅子舞保存会	「町田の伝統芸能“丸山獅子舞”を体験しよう」	2024.7.28	堺市民センター2 階ホール	18 人
座学	資料館職員	「町田市指定旧跡 凌霜館跡をさぐる」	2024.9.21	自由民権資料館閲覧室	25 人

座学	黒滝香奈(駒沢女子大学非常勤講師)	古文書講座(後期)全5回	2024.10.4～11.29	国際版画美術館講堂	のべ185人
座学	棚井仁氏(和光大学専任講師)	「明治期多摩地域の銀行業」	2024.10.20	国際版画美術館講堂	27人
FW	歴史資源担当職員	「本町田遺跡見学会～縄文と弥生のそれぞれのくらし～」	2024.10.26	本町田遺跡公園	32人
FW	資料館職員	「五日市憲法と多摩の民権運動ゆかりの地をめぐる」(バスツアー)	2024.11.4	坂本龍之輔生家跡・墓、あきる野市中央図書館、五日市郷土館、五日市中学校・五日市会館、深沢家屋敷跡、八王子富士森公園	17人
座学	牛米努氏(明治大学非常勤講師)	「地租って、どんな税？」	2024.11.23	国際版画美術館講堂	32人
座学	資料館職員	「金融史からみる武相困民党」	2024.12.1	国際版画美術館講堂	44人
GT	歴史資源担当職員	「写真でみる高ヶ坂石器時代遺跡の整備」	2024.12.14	芹ヶ谷ひだまり荘、八幡平遺跡	21人
FW	資料館職員(鶴川地区協議会との共催)	「薬師池散策ツアー」	2025.1.26	町田薬師池公園四季彩の杜「薬師池」	20人



まち歴「村びとの記録『晴雨日記』の世界－むらの日常と非日常」の様子



まち歴「本町田遺跡見学会～縄文と弥生のそれぞれのくらし～」の様子

(4)まち歴の記録

まちだ歴史講座(通称「まち歴」)では、一部の講座の概要を記録し、ホームページ上で公開することとした。

掲載年月	講師	タイトル	開催年度
2025年3月	大門正克氏	「本の著者に会ってみよう! “町田”の	2023年度

	(早稲田大学特任教授)	片隅で選挙と日本国憲法をたぐりよせる」	
2025 年 3 月	棚井仁氏 (和光大学専任講師)	「明治期多摩地域の銀行業」	2024 年度
2025 年 3 月	牛米努氏 (明治大学非常勤講師)	「地租って、どんな税？」	2024 年度

3. 町田市考古資料室

(1)概要

展示コーナーのみを年末年始を除く、毎月第2、第4土曜、日曜、祝祭日（7、8月は毎週土日、祝日）に開室している。

2022年度に「縄文のまちだ」をテーマに展示のリニューアルを行い、縄文時代を中心に町田の代表的な考古資料を展示している。

年間開室日数は73日、年間利用者数は480人であった。

(2)イベント

2024年8月21日に夏休み特別開室「教えて学芸員さん!」を行った。8月15日発行『広報まちだ』「縄文時代のまちだをみてみよう!」で市域の遺跡・遺物を紹介し、イベントについても案内した。学芸員が質問に答えるほか、展示物について学ぶことのできるワークシートを配布し、土器の破片や石器に触れられるコーナーを設置した。

来場者数は32人であった。



4. 三輪の森ビジターセンター内郷土資料室

月曜日（祝日の場合は開室、翌日休室）、年末年始以外は開室している。

年間開室日数は301日、年間利用者数は5,003人であった。



5. 町田デジタルミュージアム

町田市の持つ優れた考古・歴史・民俗資料をデジタル化、町田の通史を概観できるデジタルアーカイブをインターネット上で公開、町田市の歴史情報を広く分かりやすく発信しているサイトである。利用者はいつでも、どこでも、無料で資料の閲覧ができる。

「町田デジタルミュージアム」の特長

①時代ごとの年表、解説により、旧石器時代から現代までの町田の歴史をわかりやすく紹介している。

②2,000点以上の考古・歴史・民俗資料に関する画像が掲載され、そのうち240点は3Dを含む高精細画像である。

③代表的な近世の古民家、普段は内部を見学できない横穴墓を3Dパノラマビュー画像でその場にいるような感覚で見ることができる。

各展示の際には、デジタルミュージアムにつながる二次元コードを掲示し、資料をさらに詳しく見るができるよう連携を図っている。

【年間アクセス数】

年	アクセス数
2022	118,196
2023	141,081
2024	186,016



【サイトへのアクセスはこちら】

6. 文化財の普及・活用

(1)本町田遺跡公園ガイダンスルーム展示リニューアル

本町田遺跡公園は、1971 年に開園以降、近隣の町田市立博物館とともに活用されてきた。これまで遺跡公園の管理・運営は博物館を所管する文化スポーツ振興部が行ってきたが、2019 年の博物館閉館に伴い、2024 年 4 月に町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課に移管された。これを契機として、来園者が「集い」「憩い」「学ぶ」機能を向上させることを目的とし、ガイダンスルームの展示内容・構成のリニューアルを実施し、10 月 26 日にオープンした。



リニューアルした展示



入口にまっくうの掲示

(2)まっくう給食

町田市から発掘された土偶をモデルとした、まちだ縄文キャラクター「まっくう」を通じて「縄文のまちだ」に親しみと誇りを持ってもらうことを目的として実施した。「まっくう」をモチーフにしたものや、縄文時代にちなんだメニューを各小学校に協力依頼し、提供した。



「まっくう」トースト



「まっくう」が描かれた海苔

(3)東京文化財ウィーク

国の「文化財保護強調週間」(11月1日～7日)に合わせて、都内各地にある文化財を一斉に公開する「東京文化財ウィーク 2024」に参加した。

(4)パネル展「写真でみる高ヶ坂石器時代遺跡の整備」

2024年12月11日～12月16日、芹が谷ひだまり荘にてパネル展を開催した。1925年調査、1926年に国指定史跡となった高ヶ坂石器時代遺跡の発見から整備完了までの経緯を、これまで撮影されてきた写真をもとに紹介した。牢場遺跡、稲荷山遺跡、八幡平遺跡、整備後の写真に解説を加えて掲示した。また、来場者に町田市で出土した土器に興味をもってもらうため、高ヶ坂石器時代遺跡と同時期の遺跡から出土した土器を触れることができる形で展示した。

来場者数は155人であった。

(5)文化財防火デー

2025年1月26日午前8時50分～9時15分に本町田にある菅原神社にて、町田消防署と町田市教育委員会が主催して消防訓練を実施した。



(6)町田市×相模原市「まちの歴史、さがしてみました～まちさが考古学講座～」

町田市教育委員会生涯学習総務課、相模原市教育委員会文化財保護課、相模原市立博物館共催の事業である。

2025年3月9日、相模原市立博物館の大会議室にて町田市と神奈川県相模原市の間に流れる境川沿いの歴史について、考古学的成果に基づき発表を行った。

両市の学芸員5名が「境川沿いの地形と遺跡分布」、各市の「旧石器時代～縄文時代」、「古墳時代～奈良・平安時代」をテーマに発表した。ホワイエでは、関連遺跡から出土した遺物の展示を行い、発表終了後に発表者が解説した。

受講者数は150人であった。

(7)学習動画映像制作「町田と養蚕～おカイコさんのいたくらし～」

児童・生徒が町田市域の養蚕業の歴史を学び、地元の歴史や文化についての理解を深め、地域への愛着をはぐくむきっかけになることを目的に制作し、2025年3月24日、YouTube「町田市公式動画チャンネル」にて公開開始した。

7. 出張歴史授業

小・中学校名	実施日	コース	学年	人数
町田総合高等学校	2024.6.14	忠生遺跡について	2・3年生	生徒 18 人 教員 1 名
逗子開成中学校	2024.6.29	野津田村絵図読み解きフィールドワーク	2・3年生	生徒 7 人 教員 1 人
本町田東小学校	2024.7.19	縄文時代を知る	6 年生	児童 45 人 教員 2 人
小川小学校	2024.9.10	町田と養蚕	3 年生	児童 71 人 教員 3 人
町田第四小学校	2024.9.17	町田と養蚕	3 年生	児童 83 人 教員 3 人
本町田東小学校	2024.9.18	町田と養蚕	3 年生	児童 26 人 教員 1 人
鶴川中学校	2024.9.20	自由民権資料館見学	1 年生	生徒 80 人
鶴川第三小学校	2024.9.27	町田と養蚕	3 年生	児童 61 人 教員 2 人
南成瀬小学校	2024.10.17	町田と養蚕	3 年生	児童 57 人 教員 2 人
本町田東小学校	2024.11.12	どんど焼きについて	4 年生	児童 37 人 教員 2 人
小川小学校	2024.11.14	昔の地図からまち歴史を知る	3 年生	児童 70 人 教員 4 人
本町田東小学校	2024.11.15	昔の地図からまち歴史を知る（薬師池について）	4 年生	児童 37 人 教員 2 人
本町田東小学校	2024.12.6	本町田遺跡見学	3 年生	児童 6 人 教員 1 人
町田第五小学校	2024.12.23	町田と養蚕	3 年生	児童 106 人 教員 4 人
鶴川第一小学校	2024.12.24	自由民権資料館見学	6 年生	児童 120 人 教員 4 人
南成瀬小学校・南第二小学校	2025.1.16	昔の道具を使ってみよう	3 年生	児童 110 人 教員 5 人
南成瀬小学校	2025.1.23 ～ 2.13（4 回）	町田市の歴史（町田市のうつりかわり）	3 年生	児童 56 人 教員 2 人
真光寺中学校	2025.2.6	自由民権資料館見学	1 年生	生徒 6 人
小山田南小学校	2025.2.7	昔の道具を使ってみよう	3 年生	児童 90 人 教員 3 人
忠生小学校	2025.2.20	昔の道具を使ってみよう	3 年生	児童 67 人 教員 2 人
町田第一小学校	2025.2.27	昔の道具を使ってみよう	3 年生	児童 112 人 教員 4 人
山崎小学校	2025.3.4	町田の歴史	3 年生	児童 45 人 教員 2 人

8. 講師等の派遣

派遣日	依頼・主催者	内容	実施場所	参加人員
2024.5.15	かわさき市民アカデミー まち歩き（川崎学）WS	『街角の文化遺産に学ぶ―神奈川県・東京府の明治期における自由民権運動』（第2回）「神奈川県南多摩郡の自由民権運動とその広がり」講義	川崎市生涯学習プラザ	30人
2024.6.28	鶴川地区協議会	「薬師池の歴史」	鶴川市民センター	13人
2025.2.9	東京都教育委員会・国立市教育委員会	「国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡について」	くにたち市民芸術小ホール	208人
2025.3.2	日高市教育委員会	「縄文遺跡を未来に伝える―国史跡の整備と活用事例―」（高ヶ坂石器時代遺跡）	日高市高麗川公民館	40人

9. 出版物の刊行

書名	発行機関	発行年月日	発行部数
2024 年度企画展 回セ！地域経済―江戸・明治の町田金融史―展示ガイドブック	町田市教育委員会	2024.10.12	350部
国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡整備事業報告書	町田市教育委員会	2025.3.14	300部
町田市 相原丸山遺跡	有限会社リビングホーム 町田市教育委員会	2025.3.31	300部
町田市文化財年報 2023 年度	町田市教育委員会	2025.3.31	210部
武相近代資料集 1-3 村野日誌 3	町田市教育委員会	2025.3.31	500部

10. 資料調査対応

機関等	目的	資料名	調査日
個人	調査	小山町 2 号字切旧公図 1 点	2024.4.3
道路管理課	調査	小山町 2 号字切旧公図 1 点	2024.4.3
松戸市立博物館	企画展の事前調査	鶴川遺跡群、田端東遺跡、なすな原遺跡出土資料 計 16 点	2024.4.26
個人	調査・研究	回春堂文庫 9 点	2024.4.27
個人	調査・研究	原町田・武藤家文書 10 点	2024.5.2
個人	調査・研究	若林家文書 1 点	2024.5.28
個人	調査・研究	三輪村文書 8 点	2024.6.12
個人	調査・研究	鶴川村全図	2024.6.29
個人	調査・研究	相原町・青木家文書 6 点	2024.8.15
個人	調査・研究	金井町・草薙家文書 7 点	2024.8.24
個人	調査・研究	野津田町・村野家文書 27 点	2024.8.25
個人	調査・研究	相原町・青木家文書 6 点	2024.9.13
個人	調査・研究	土地宝典（鶴川地区）3 点	2024.9.20
個人	調査・研究	野津田町・河井家文書 19 点	2024.10.4
個人	調査・研究	三輪村文書 5 点	2024.10.26

個人	調査・研究	浪江虔文庫 2 点	2024.11.13
個人	調査・研究	家永三郎文庫（追加分）6 点	2024.12.6
個人	調査・研究	浪江虔文庫 7 点	2024.12.19
個人	調査・研究	回春堂文庫 1 点	2025.1.12
個人	調査・研究	能ヶ谷・神蔵家文書 3 点	2025.1.15
個人	調査・研究	能ヶ谷・神蔵家文書 3 点	2025.1.16
個人	調査・研究	野津田町・河井家文書 2 点	2025.1.16
個人	研究	田端東遺跡、なすな原遺跡、忠生遺跡出土土偶、計 28 点	2025.1.24
個人	調査・研究	南村全図 1 点	2025.2.12
個人	調査・研究	浪江虔文庫 1 点	2025.3.7

11. 資料の貸出

貸出先	展示会名	貸出資料	展示期間
松戸市立博物館	企画展「異形土器 縄文時代の不思議 なうつわ」	異形台付土器(鶴川遺跡群 M 地点)、鉢形土器、異形 台付土器、深鉢形土器、 注口土器(なすな原遺跡) など計 9 点	2024.9.14～11.4
大田区立郷土博物館	特別展「矢を放 て！～関東の弓 矢、一万年～」	有孔磨製石鏃(東雲寺上遺 跡)、石鏃(なすな原遺跡)、 石鏃(木曾森野遺跡)など計 32 点	2024.10.8～12.1
あつぎ郷土博物館	特別展「ドグウ集 まれ！」	中空土偶頭部(田端東遺 跡)、土偶(忠生遺跡 A 地区) 計 6 点	2024.10.12～12.8
町田市立小川小 学校	1 年生国語の授業	糸車	2024.11.22～12.6

12. 資料の写真掲載等

提供先	出版物等	提供資料	発行予定
読売新聞社町 田支局	『読売新聞』都内版(多摩版 を含む)「東京探 Q」	民権家時代の村野常右衛門 肖像写真・衆議院議員時代 の村野常右衛門肖像写真 (村野家文書)	2024.5.20
日本経済新聞 社	『日本経済新聞』美の粋面 「旧幕臣の画家たち」	小林清親「目を廻す器械」 (『団団珍聞』508 号掲載)	2024.6.9
個人	『郵便屋さんからの手紙』	本町田遺跡リーフレット	2024.6
読売新聞東京 支社春日部支 局	『読売新聞』埼玉県版(2024 年 9 月 15 日付)	菊池菊城肖像画(図師町・佐 藤家文書)	2024.9
町田市立南第 一小学校	『町田市立南第一小学校 創立 150 周年記念誌』	東京府南多摩郡南村全図 (自由民権資料館)、細野喜 代四郎肖像写真(細野家文 書)	2024.11
町田フィルハ ーモニー交響 楽団	第 93 回定期演奏会ポスタ ー、チラシ	24 万人の個展写真、藤の台 団地写真	2024.11～

株式会社ウィネット	「新潟県統一模試（第 7 回中 3 志望校判定テスト）」	「恋の革命」挿絵（＝演説会の様子）（『絵入自由新聞』1507 号）	2024.12
株式会社 NHK エンタープライズ	『100 分 de 名著』（E テレ、各 24 分） 「中江兆民 “三酔人経綸問答” 第 4 回 その後の兆民」（2023 年 12 月 25 日放送）のオンデマンド放送	錦絵「国会議事堂会儀之図」	2024.12～
広島女学院中学校	広島女学院中学校入学試験問題	「恋の革命」挿絵（＝演説会の様子）（『絵入自由新聞』1507 号）	2024
企画政策課	日本非核宣言自治体協議会のホームページ	焼夷弾	
横浜倉庫株式会社	湯河原町保養所掲出「年表」への掲載	起工式記念絵葉書、創業当初の倉庫外観（村野家文書）	
株式会社ナチュラルサイエンス（登別市教育委員会）	「ナチュの森で冬の縄文にであう」展 函館市出土国宝土偶との比較資料としてパネル作成	中空土偶頭部（田端東遺跡）	2025.1～2
個人	まちだ自由民権カレッジ同窓会会報『凌霜の風』82 号	松浦武四郎の青木芳斎宛書簡、『丙戌前誌』序分の松浦武四郎肖像画（回春堂文庫）	2025.2.26
個人	『多摩のあゆみ』197 号	菊池菊城肖像画（図師町・佐藤家文書）	2025.2
個人	『町田地方史研究』30 号	同上	2025.3
個人	『小野路町内会会報』43 号	同上	2025.3
株式会社ディラナダチ	『歴史人』2025 年 3 月号	忠生尋常高等小学校での授業風景	2025.3
すみだ郷土文化資料館	「洗濯用具の変化に見る明治後期から昭和初期の生活とモノづくり一道具をめぐる人々とくらし②―」『すみだ郷土文化資料館 研究紀要 第 11 号 令和 6 年度』	炭火アイロン	2025.3
株式会社帝国書院	『社会科 中学生の歴史―日本の歩みと世界の動き―』	「自由」の文字が付いた芝居用の人形（西川古柳座） ②中島信行が村野常右衛門に贈った書「自由所棲是吾郷」（村野家文書）	2025.4.1
株式会社国書刊行会	縄文 ZIN 編集部編著『1000 の縄文』	隆起線文土器・透かし彫り土製耳飾り一式・注口土器一式・石刀（なすな原遺跡）、深鉢形土器（忠生遺跡 B 地区）、異形台付土器一式（鶴川遺跡 M 地点）、クルミ形土器（木曽中学校遺跡）、彫刻付大形石棒・深鉢形土器（忠生遺跡 A 地区 1 地点）、中空土偶（田端東遺跡）、浅	2025.8

		鉢形土器（御嶽堂遺跡）、注口土器（忠生遺跡 D 地区・向遺跡・東雲寺上遺跡）など計 16 点	
--	--	--	--

13. 取材・メディア撮影等

提供先	番組名・目的等	内容	撮影日
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社	TOKYO MX「パンサー尾形の竹馬散歩」	本町田遺跡公園での撮影	2024.7.3
個人	映像祭参加のため	本町田遺跡公園での撮影	2024.7.27
株式会社交通新聞社	雑誌「散歩の達人」	本町田遺跡公園内の縄文時代前期の住居、弥生時代の住居での撮影	2024.9.28
株式会社アマゾンラテルナ	NHK WORLD JAPAN「Dive in Tokyo」	本町田遺跡公園、町田市考古資料室での撮影	2024.10.2
ツナガル株式会社	公益財団法人東京観光財団委託 令和 6 年度多摩・島しょ魅力発信事業 魅力発信を目的とした動画撮影および SNS への掲載	本町田遺跡公園での撮影	2024.11.6
株式会社 NHK エデュケーションアル	「木村多江の、いまさらですが・・・縄文時代～DNA 研究と考古学から見た最前線～」	田端環状積石遺構での撮影	2025.1.23

14. 学校資料の整理・移管

町田市教育委員会では、少子化と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるために新たな学校づくりを進めている。校舎の統合にあたり、2024 年度は、南第二小学校・本町田東小学校の 2 校について、各校が地域から寄贈を受けるなどした資料等の保管状況を確認のうえ評価・選別をし、町田市域の歴史および教育史にとって重要と判断される資料の移管を受けた。

【移管資料】

学校名	分野	資料名	件数
南第二小学校	考古	縄文土器	1 件
	歴史	学校沿革関連資料、写真 ほか	200 件
	民俗	黒板クリーナー、電気アイロン ほか	7 件
本町田東小学校	考古	縄文土器 ほか	5 件
	歴史	地域歴史関係授業記録、ビデオテープ ほか	21 件
	民俗	万石通し、ふるい ほか	6 件

Ⅲ. 史跡保存事業

1. 国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡整備

高ヶ坂石器時代遺跡は牢場遺跡・稻荷山遺跡・八幡平遺跡の3地点で構成される。1925年に発掘調査によって、縄文時代の敷石住居が日本ではじめて確認された遺跡で、翌1926年に国の史跡に指定された。

多くの人々に活用してもらえる身近な史跡公園を目指し、2014年から整備を開始し、2024年度に八幡平遺跡の植栽等整備を行い10年に及んだ史跡整備が完了した。また、2025年3月に『国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡整備事業報告書』を刊行した。

町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡整備検討委員会 委員名簿

(2025年3月時点)

氏 名	所 属 等	担当分野
山本 暉久(委員長)	昭和女子大学名誉教授	考古学
谷川 章雄	早稲田大学名誉教授	考古学
阿部 朝衛	帝京大学教授・元町田市文化財保護審議会委員	考古学
栗野 隆	東京農業大学教授	造園学
小島 政孝	小島資料館館長・元町田市文化財保護審議会委員	郷土史
井上 恭一	元町田市教育委員・元町田市文化財保護審議会委員	
石垣 敦男	芝好園自治会	
オブザーバー		
中井 将胤	文化庁文化資源活用課 文化財調査官	
野口 舞	東京都教育庁地域教育支援部管理課 埋蔵文化財担当	



八幡平遺跡の公園整備

2. 東京都指定史跡 本町田遺跡復元住居修繕

本町田遺跡は藤の台団地造成に伴い調査された遺跡で、縄文時代前期と弥生時代中期の集落跡が確認され、縄文時代と弥生時代の住居跡が各一軒復元されている。

縄文住居の竪穴周壁の腐食した樹皮及び木材（枝）をFRP（繊維強化プラスチック）で製作した擬木に交換修繕を行った。



修繕前



修繕後

IV. 埋蔵文化財保存事業

1. 本調査

相原丸山遺跡（町田市№.769 遺跡）

所在地	相原町字丸山 1827 番 5
調査原因	宅地造成
調査期間	2024 年 5 月 16～30 日
調査面積	23.78 m ²
支援業者	㈱四門
検出遺構	竪穴建物跡 1、土坑 2、小穴 1 （奈良・平安時代）
検出遺物	須恵器、灰釉陶器、土師質土器、 土師器、縄文土器、石器、瓦



調査概要

調査区東側にて埋没谷が確認され、調査区外まで続く谷地形であることがわかった。

竪穴建物跡 1 軒は 9 世紀末～10 世紀初頭のものと推定され、東側にカマドをもち、土坑 1 基、小穴 1 基が付帯する。重複して同時代の土坑 1 基が確認された。

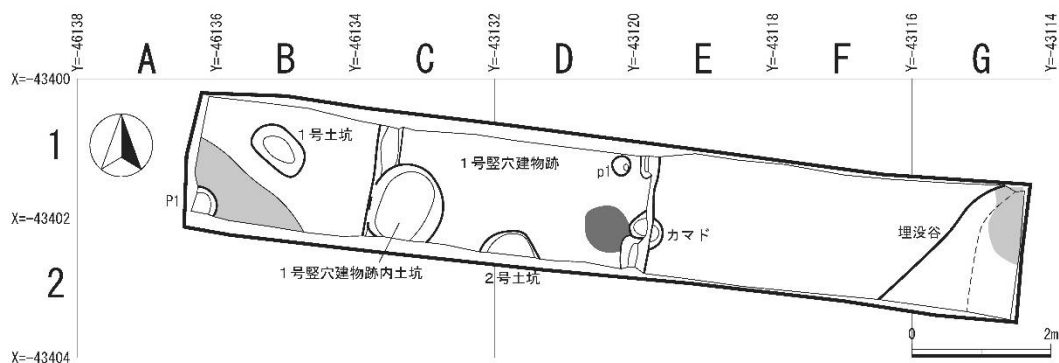
調査地の北東には、南多摩窯跡群の中でも最大規模を誇る御殿山窯跡群が位置している。出土遺物には須恵器・土師器などの多数の遺物が散見され、多くは同窯の生産品と推定される。御殿山窯跡群の工人に伴う集落の可能性がある。詳細は、町田市教育委員会『町田市 相原丸山遺跡』（2025 年 3 月）に報告している。



1 号竪穴建物跡完掘 西から



竪穴建物跡カマド遺物出土



調査区全体図

2. 試掘調査

(1)町田市No.769 遺跡

所在地 相原町字丸山 1821 番 2 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 4 月 15～16 日
調査面積 2×2m×3 ケ所、
2×1m×2 ケ所＝16 m²
支援業者 (株)四門
検出遺構 竪穴建物 1 軒
検出遺物 縄文土器、土師器、須恵器、
磁器



調査概要

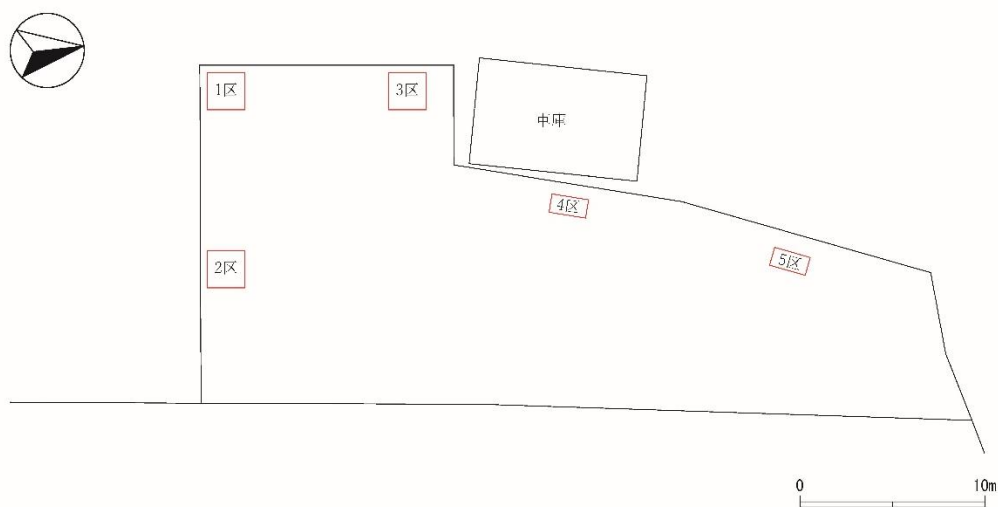
境川左岸の丘陵斜面に立地し、標高は約 147～150m である。2 区で竪穴建物 1 軒を確認したが、調査区全面が遺構覆土と推定され、形態・規模は不明である。カマドの構築材と考えられる白色粘土と焼土の範囲を確認し、比熱礫が見られた。竪穴建物跡からは土師器 5 点、須恵器 5 点が出土している。



2 区南壁断面 北から



出土遺物 2 区 SI 1



調査区配置図

(2)綾部原遺跡(町田市No.295 遺跡)

所在地 野津田町字中村 859 番 1 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 5 月 8～9 日
調査面積 2×4m×4 ケ所=32 m²
支援業者 ㈱四門
検出遺構 小穴 4 基、性格不明遺構
1 基
検出遺物 縄文土器、土師器



調査概要

鶴見川左岸の丘陵に立地し、標高は約 54～58m である。トレンチ 1 で小穴 1 基(P1)、性格不明遺構 1 基(SX1)、トレンチ 3 で小穴 2 基(P2・P3)、トレンチ 4 で小穴 1 基(P4)を確認した。P1 から条痕文系土器が出土した。



トレンチ 1 検出 北から



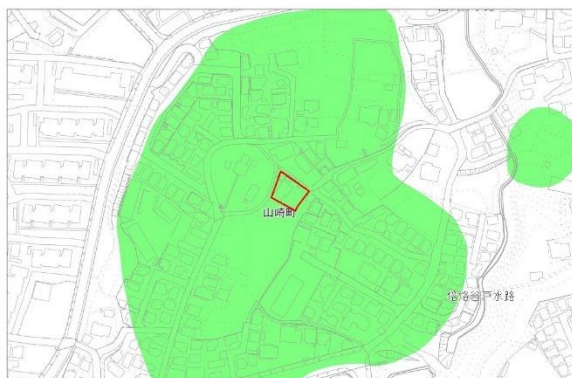
トレンチ 1 出土遺物



調査区配置図

(3)すぐじ山下遺跡(町田市№.829 遺跡)

所在地 山崎町字三号 344 番
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 6 月 19～20 日
調査面積 2×4m×1 ケ所、
2×3m×2 ケ所=20 m²
支援業者 ㈱四門
検出遺構 土坑 2 基、柱穴 2 基、
ピット 5 基
検出遺物 縄文土器、土師器、須恵器、
鉄製品



調査概要

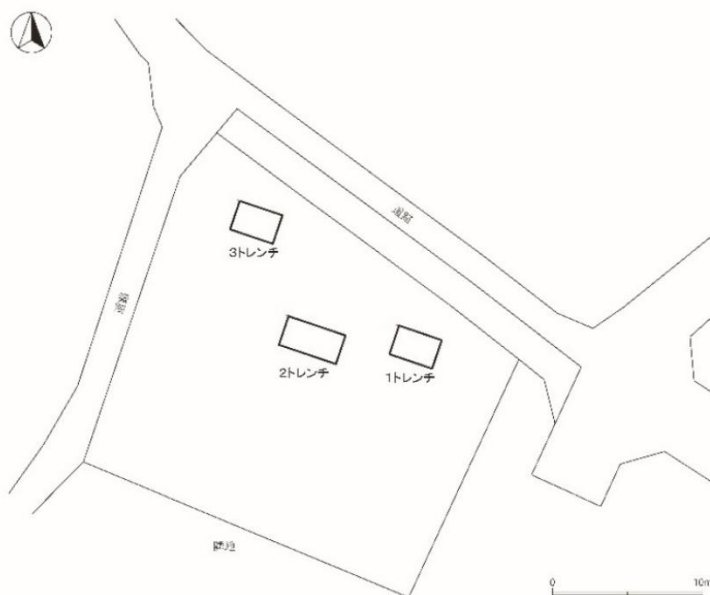
鶴見川右岸の丘陵上に立地し、標高は約 70m である。根固めや礎石を有する柱穴やピットを確認した。須恵器は回転糸切後無調整の坏底部片で 9 世紀後半以降の所産とみられる。土師器は奈良・平安時代の長胴甕 2 点と器壁の薄い武蔵型甕 2 点が認められたほか、8 世紀前半の盤状坏の一部とみられる内外面赤彩の体部片 1 点が出土した。



トレンチ P1 石積み 1 段目検出状況



2 トレンチ完掘状況 東から



調査区配置図



調査区出土遺物

(4)町田市No.990 遺跡

所在地 本町田 1514-1 外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 6 月 25～26 日
調査面積 2×4m×3 ケ所
2×3m×1 ケ所=30 m²
支援業者 ㈱四門
検出遺構 なし
検出遺物 なし



調査概要

恩田川流域の台地上に位置し、標高は約 83～85m である。表土、富士黒土(Ⅱ層)、ローム漸移層(Ⅱc 層)が確認された。サブトレンチにてローム漸移層以下の自然堆積層を確認し、ソフトローム層、ハードローム層が認められた。遺構・遺物は確認されなかった。



トレンチ掘削作業状況



2 トレンチ完掘状況 南から



調査区配置図

(5)町田市No.62 遺跡

所在地 小山町字九号 1276 番 1
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 7 月 18 日
調査面積 2×4m×2 ヶ所=16 m²
支援業者 (株)四門
検出遺構 縄文時代の竪穴状遺構 1 基
土坑 1 基
検出遺物 縄文土器、石器



調査概要

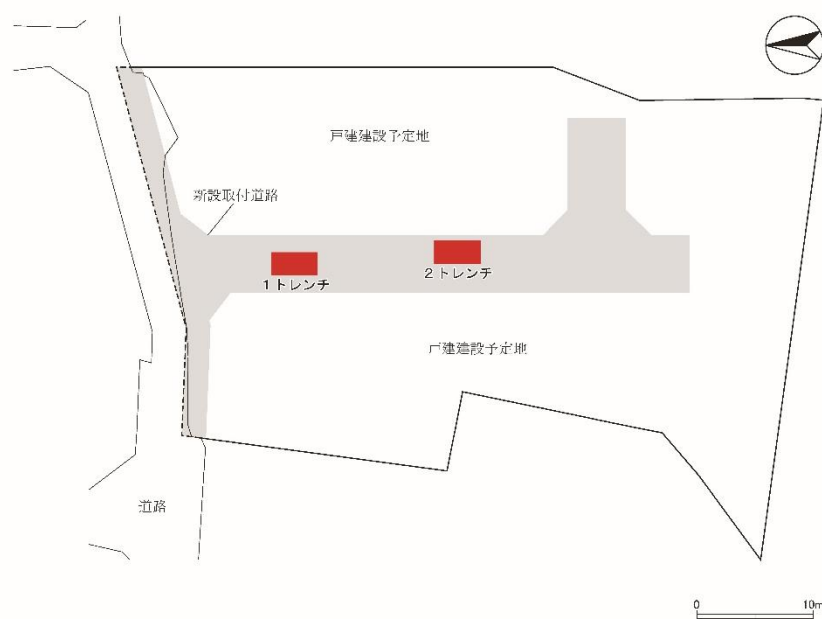
境川左岸の台地上に立地し、標高は約 131～132m である。1 トレンチで土坑 1 基、2 トレンチのほぼ全範囲に渡って竪穴状遺構が検出された。覆土から縄文土器 11 点、打製石斧 2 点、剥片 1 点が出土した。縄文土器は口縁部隆帯と撚糸文様から、加曽利 E I から E II 式期の資料と考えられる。



2 トレンチ検出状況 西から



2 トレンチ SI01 出土遺物



調査区配置図

(6)原東遺跡(町田市№562 遺跡)

所在地 本町田字十号 1497 番 1 外
調査原因 宅地造成・その他建物
調査期間 2024 年 9 月 2～4 日
調査面積 2×4m×4 ケ所=32 m²
支援業者 ㈱四門
検出遺構 土坑 1 基
検出遺物 なし



調査概要

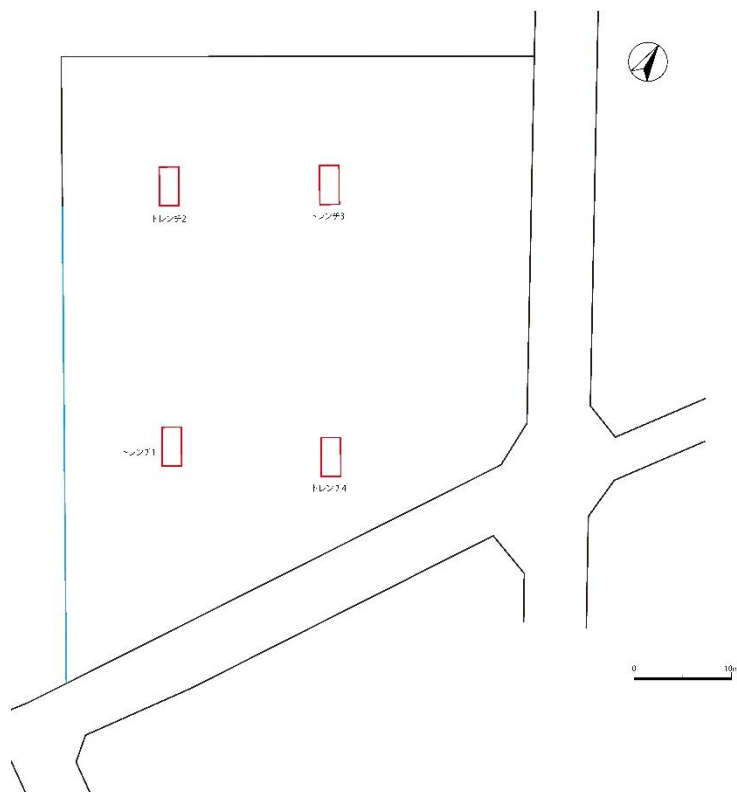
恩田川左岸の台地上に立地し、標高は約 82～83m である。トレンチ 3 の土坑(SK1)を確認、覆土は単一層で暗褐色土が主体であった。トレンチ 2・4 で計 18 のピットを検出した。遺物は出土しなかった。



トレンチ 2 検出状況 南から



トレンチ 3 検出状況 南から



調査区配置図

(7)原小学校遺跡(町田市No.714 遺跡)

所在地 本町田字十六号 2047 番地外
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 10 月 16～17 日
調査面積 2×4m×3ヶ所=24 m²
支援業者 ㈱四門
検出遺構 土坑 1 基、小穴 3 基
検出遺物 縄文土器



調査概要

恩田川と支流により形成された台地に立地し、標高は約 97m である。2 トレンチから土坑 1 基(SK1)を確認、落とし穴と推定される。3 トレンチの小穴 3 基は単層の暗褐色土で赤色スコリアを微量含む同じ覆土であった。縄文土器は中期後葉の所産と推定される。



2 トレンチ土坑(SK1)断面 東から



3 トレンチ検出全景 北から



調査区配置図



出土遺物 1 トレンチ

(8)町田市No.215 遺跡

所在地 山崎町字三号 204-1 外 2 筆
調査原因 宅地造成
調査期間 2024 年 12 月 11～12 日
調査面積 2×3m×4ヶ所=24 m²
支援業者 (株)四門
検出遺構 竪穴住居跡 2 軒、溝跡 1 条
検出遺物 縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器



調査概要

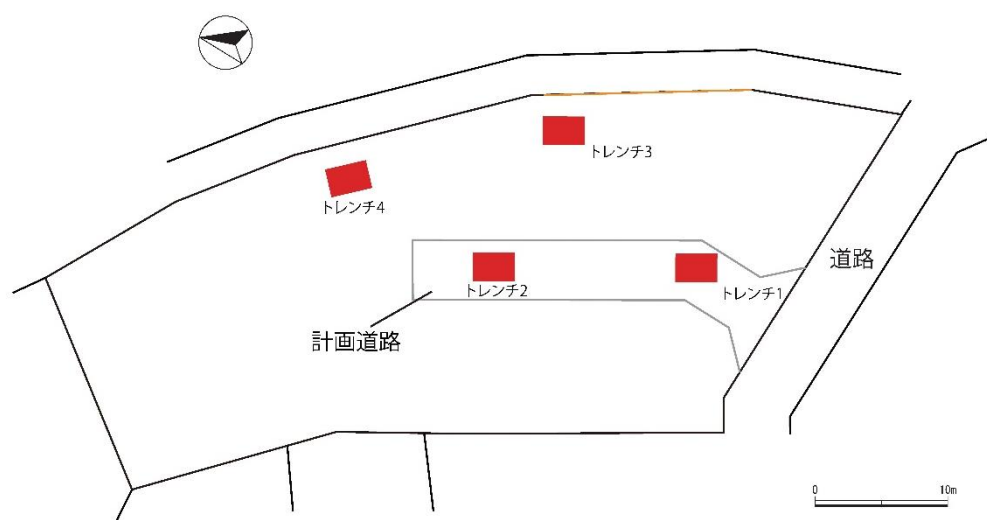
鶴見川右岸の段丘上に立地し、標高は約 66～68mである。1 トレンチの竪穴住居跡(SI1)西側の焼土範囲はカマドと考えられ、古代の住居と推定される。3 トレンチの竪穴住居跡(SI2)は弥生土器を伴っていた。2 トレンチの溝(SD1)は規模や形状は不明だが、深さ 0.6mを測る。全てのトレンチで土器片を検出した。



1 トレンチ検出全景 北から



3 トレンチ出土遺物



調査区配置図

(9)山崎遺跡群 A 地点(町田市No.500 遺跡)

所在地 木曽東四丁目 1324 番外
調査原因 宅地造成
調査期間 2025 年 3 月 12～13 日
支援業者 (株)四門
調査面積 2×5m×1 ヶ所
2×4m×2 ヶ所=24 m²
検出遺構 竪穴住居跡 1 軒
検出遺物 なし



調査概要

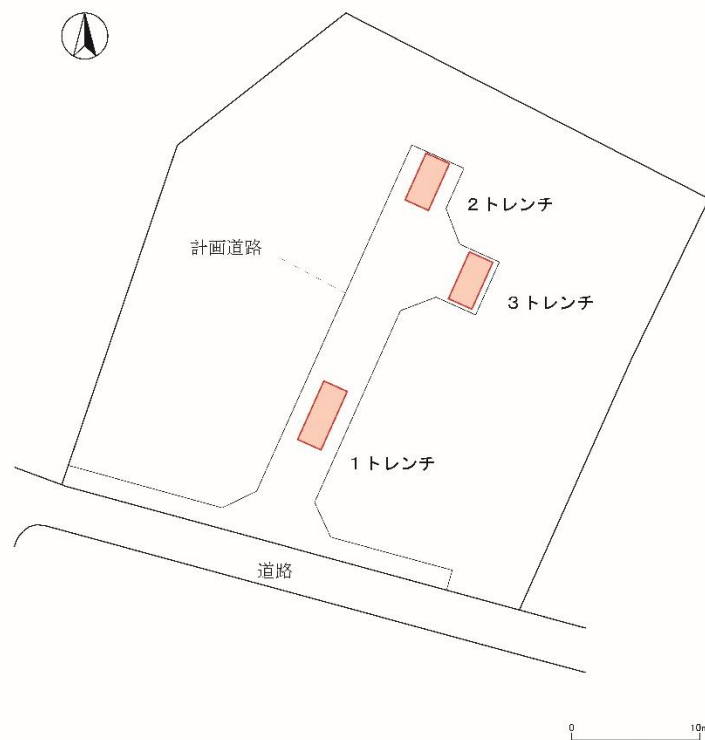
境川左岸の段丘上に立地し、標高は約 101mである。3 トレンチのⅢ層ソフトロームまで掘削後、精査したところ、縄文時代の竪穴住居跡(SI1)の床面と壁溝を確認した。北西隅はⅣ層ハードロームまで確認した。遺物は検出されなかった。



1 トレンチ西壁土層断面 東から



3 トレンチ SI 床面・壁溝検出状況 西から



調査区配置図

町田市文化財年報 2024 年度

発行日	2025 年（令和 7 年） 9 月
編集	町田市教育委員会生涯学習部生涯学習総務課 〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22 電話 042-724-2554
発行	町田市教育委員会
刊行物番号	25－30
印刷	庁内

この冊子は 200 部作成し、1 部あたりの単価は 867 円です（職員人件費を含みます）。

